

大津市立伊香立中

大津市立伊香立中学校（同市伊香立下在地町）のアクアリウム部による「伊香立水族館」が開館した。部員6人が育てる淡水エイやアロワナ、ウーパールーパーなど25種300匹を一般に公開しており、県内外からの来館者でにぎわっている。

同中は山間部にある生徒35人の小規模校で、特色ある部活動を奨励するなど学校の魅力向上を進めている。県内でも珍しいアクアリウム部もその一つで、2011年に創部。熱帯魚をはじめ水生生物を飼育、研究するほか、繁殖させた白メダカを地元で販売して被災地へ寄付

校内水族館を一般公開



魚の特徴を説明するアクアリウム部員。地域に開かれた施設にと「伊香立水族館」の名を付けた

する活動にも力を注いでいる。

水族館は育ててきた魚を校外の人にも見てもらおうと開設。閉鎖した県施設から譲り受けた水槽を磨き、物置になっていた旧生徒会室を掃除するなどして準備した。平日は

午前10時～午後3時、土曜日は月によって異なり10月は11、25日の午前9時～正午に公開する。1年の藤堂潤也部長(13)は「小学生のときから入りたかった部で、こんな取り組みができてうれしい」と話している。